令和８年度受賞

神流町あわばた大豆推進協議会

推薦者：神流町長

活動をはじめた時期：平成２６年１０月

～活動報告～

平成26年度の設立以来、生産者、加工者、事業者が連携し、地域の伝統作物であるあわばた大豆の保護・継承と需要拡大に取り組んでいる。

過疎・山間地域における大豆生産を維持しながら、加工品開発や販売促進、研修会の開催を通じて地域資源の価値向上と産地振興を推進している。また、高齢者が長年培ってきた栽培技術や知識を次世代へ伝承する機会を創出し、地域を支える農業と食育活動を一体的に展開している。

協議会の活動は、地域住民があわばた大豆の魅力や価値を再認識するきっかけとなるとともに、農地保全や地域コミュニティの維持にも寄与している。さらに、高齢者の主体的な参画による生きがいづくりや健康増進、生産・加工・販売の連携強化による地域活性化にもつながっている。

近年は総会や先進地視察、大豆講習会を実施し、生産技術の向上と関係者間の連携強化を図っている。継続的な活動と強固な協力体制のもと、伝統作物の継承と地域の持続的な発展に貢献している。







活動の様子

あわばた大豆



講習会





あわばた大豆の豆腐